



段ボールベッドを設営する中学生たち

6/29 緊急時に備え 中学生が避難所設営体験

鶴田中学校 避難所防災訓練

鶴田中学校3年生が、防災意識や防災対応能力の向上を目的に、避難所の設営体験を行いました。また、能登半島地震で現地支援を行った西村信哉氏を迎え、実際の避難所生活について講話していただきました。

避難所設営では、テントや段ボールベッド、簡易トイレを組み立て、体育館内での配置について話し合いながら作業を進めていました。

講話では、避難生活でのリハビリテーションの重要性について話され、災害時に必要な支援や備えについて理解を深めていました。

6/30 町の主要産業を中学生が体験

鶴田中学校 スチューベン房作り体験

鶴田中学校1年生が町内のぶどう園3か所でスチューベンの房作りを体験しました。

それぞれの園地へ移動した生徒たちは、各園主の指導を受け、良質な房に育てるため、余分な房を丁寧に切り落とす作業に取り組みました。また、栽培方法について積極的に質問し、スチューベンへの理解を深めていました。

体験後は「あるじゃ」へ移動し、スチューベンがジュースになるまでの加工工程を見学しました。



園主のアドバイスを受け、ハサミを入れる生徒



講師の話を聞く中学生たち

7/6 自分と他人の違いを受け入れて

親子で学ぶ デジタル・サバイバル・マニュアル

鶴田町連合PTAが、鶴田中学校の生徒と保護者を対象に、上越教育大学教授の高橋知己氏を招き、いじめやSNSの危険性について講演会を開催しました。

高橋氏は、「いじめは他人との違いを認められず、それを取り除こうとすることが根幹にある」と話しました。また、「SNSは時間や公開する相手を限定して投稿しても、事件につながる可能性がある。投稿前に内容をよく確認し、軽はずみな行動を取らないでほしい」と呼びかけました。



鶴田町・フッドリバー市



姉妹都市50周年フォトコーナー



姉妹都市締結50周年を祝うた乳幼児園の園児たち

Hood River News

国際交流員は、幼稚園や保育園などで毎週英語を教えています。今回一緒に撮影したつるた乳幼児園の子どもたちはとても元気で、特に自分の独創的なアイデアを英語で発表するのが得意です。

彼らが中学生になったら、フッドリバー市でホームステイをするのが良いでしょう！子どもたちの社交的な性格と一生懸命取り組む姿勢が、姉妹都市での素晴らしい代表者となると考えています。

(筆：シェリー・ザンスラー)

7/22 ドローンで災害時の物資輸送を

夏季スマート技術 実演説明会

青森県西北地域連携事務所が主催で、ツルタラボにて最新のロボット・ドローンの実演会が行われました。物流ドローンの実演では、災害拠点であるツルタラボと歴史文化伝承館の間で、水や食料を輸送しました。

物流ドローンは、操作に慣れていない県職員が操縦しました。県職員は「直感的に操作でき、専門家が来るまでの初動対応であれば、半日ほどの訓練で対応できる」と話し、参加者は緊急時における物流ドローンの有用性を実感していました。



ドローンの操作画面に表示される映像について説明する講師



ホームに到着する電車をお手振りで迎える地域住民たち

7/25 90年の運行に感謝 地域住民がエール

五能線全線開通90周年「手を振ろうキャンペーン」

五能線全線開通90周年を記念し、7月25日に「ひなび（陽旅）」と「SATON0」を連結した特別な臨時列車が運行されました。陸奥鶴田駅では、地域住民の皆さんをはじめ、町職員や観光ガイドなど多くの人がお手振りで乗客を歓迎。

笑顔あふれるホームからは、五能線への感謝と地域を盛り上げたいという思いが伝わり、訪れた皆さんを温かく迎えるひとときとなりました。

全国・東北大会出場おめでとう

鶴田小学校児童・下山学園生が各競技の県大会で活躍し、各種上位大会に出場します。選手の皆さんは次のとおりです。（敬称略）

ビジネス計算競技（高校生）

- 第73回全国高等学校ビジネス計算競技大会
〈8月4日/神奈川県横浜市〉
【個人総合】湊谷妃鞠(3年)

卓球（小学生）

- 第40回全国ホープス北日本グループ卓球大会
〈8月7日～9日/北海道室蘭市〉
【団体】佐藤太陽(6年)

相撲（小学生）

- 第39回全日本小学生相撲優勝大会東北ブロック
〈8月16日/岩手県八幡平市〉
【6年生の部】川崎蓮翔

野球（小学生）

- 第5回ウラノホールディングス杯 北海道・東北交流大会
〈8月1日～2日/北海道/赤平市など〉
鶴田B B C



Vol.110（筆：佐藤 麻美）

7月から地域おこし協力隊として着任しました、佐藤です。移住してまだ1週間も経っていませんが、鶴田町の魅力を毎日五感で感じています。

町について調べる中で、「若い人が住めるまちづくり」や「移住に優しいまちづくり」に力を入れていることを知りました。特に、町民憲章の「年寄りや若いのをいったり、若い力を伸ばし、希望あふれるまちをつくる」という言葉が心に残っています。また、朝ごはん条例や、アメリカ・オレゴン州フッドリバー市との姉妹都市交流など、人と人とのつながりを大切にしている町だと感じました。

私のお気に入り「道の駅つるた 鶴の里あるじゃ」のスケッチャーシェイクとスケッチャーパン大福です。これから町内の絶景スポットにも足を運び、鶴田町の魅力を多くの方へ発信していきたいと思っています。



▲辞令交付を受けた佐藤真生さん（左）と佐藤麻美さん（中央）と相川町長

7月21日より、新たな地域おこし協力隊として着任した佐藤夫妻の詳しいご紹介は、広報つるた9月号にて掲載します。